

福島県南相馬市立原町第一中学校

原一中だより

第 5 号 令和 6 年 8 月 3 0 日 (金) 発行

令和 6 年度 重点目標 未来をみつめ ともに輝く生徒

確かな変化を生み出すために 必要なこととは？

8月22日、全校集会において、生徒達に伝えたこととお話します。

ヨーロッパのある古い教会での話「ストーン・キャット (石の猫)」というお話しをします。教会の神父が野良猫を飼っていました。彼が祭壇の前でお祈りするときも猫が彼に悪戯するため、お祈り中には猫を紐で祭壇の脚につなげるようにしました。やがてこの神父が亡くなり、2代目の神父がその猫を世話して、同じようにお祈り中に猫を祭壇の脚につなげるようにしました。3代目の神父は、いつも猫を祭壇の脚につなげる先輩神父のことを思い出し、自分も猫を飼って、同じようにお祈り中には猫を紐で祭壇の脚につなげるようにしました。4代目の神父は、面倒臭がり屋で、生きた猫ではなく石の猫を作り、祭壇の脚の横に置くようにしました。そして、5代目の神父は、床に置かれている石の猫を邪魔だと思い、祭壇の上に置きました。6代目以降の神父たちは、常に石の猫に向かってお祈りをするようになり、いつの間にかこの教会では、石の猫は祭壇上の神聖なる存在になりました。これがストーン・キャット (石の猫) のお話です。

私たち人間は、いつもやっていることを神聖化する癖があります。長くやってきたことに対しては、必ず意味があると思いついてしまいます。つまり、その時代や状況に応じて、たまたま出来た制度や仕組み、方法などをしばらく続けると、まるで神聖なルールようになってしまい、誰もその存在理由と合理性を疑わなくなります。「私たちの身の回りにも、そんなところがいっぱいありませんか？」という示唆をこの話は投げかけてくれています。『どうして大事なのか』をしっかりと考え吟味すること。『目標を立て、その達成を目指した取組を通して自分がどのように成長したいのか』など、しっかりと「目的意識」を持って取り組んでほしいと願っています。

夏 活躍の軌跡

- 県中体連総合大会
7/22~24
◇相撲部 あいづ相撲場
無差別の部 第1位 田村さん
3年生の部 第1位 田村さん
◇野球部 いわき市南部スタジアム
ヨークいわきスタジアム
ベスト8
- 全日本通信陸上競技福島大会
7/27 いわき陸上競技場
女子砲丸投 第5位 遠藤さん
- 福島県吹奏楽コンクール
8/4 郡山市民文化センター
中学生の部 金賞
- 東北中学校相撲大会
8/7~8 宮城県栗原市
3年生の部 第5位 田村さん
- 全国都道府県中学生相撲選手権大会
8/11 東京都両国国技館
福島県代表 田村さん
- 全国中学校相撲選手権大会
8/17~18 富山県射水市
個人戦出場 田村さん
- 中学校英語弁論大会相双地区大会
8/28 小高区浮舟会館
創作の部
第1位 綾部さん **県大会出場**



上：東北中学校相撲
右：英語弁論大会

